



実話をもとに描く、真摯で温かな人間賛歌



教師の夫、三人の息子とともに関西の町で暮らす令子。末っ子の智は幼少時に視力を失いながらも、家族の愛に包まれて天真爛漫に育つ。やがて令子の心配をよそに東京の盲学校で高校生活を謳歌。だが18歳のときに聴力も失う…。暗闇と無音の宇宙空間に放り出されたような孤独にある息子に立ち上がるきっかけを与えたのは、令子が彼との日常から見出した、新たなコミュニケーションの“手段”だった。勇気をもって困難を乗り越えていく母子の行く手には、希望に満ちた未来が広がっていく…。

母と息子が見出していく希望に満ちた未来

視力と聴力を次々と失いながらも、大学へ進学し、現在、東京大学の教授を務める福島智さんをご存じですか？これは、そんな智さんと母・令子さんの実話にもとづく物語。ひとつひとつ困難を乗り越えながら人生の可能性を広げていく二人の勇気は、私たちの心を生きる喜びで満たすことだろう。

大らかで凛とした母を体現、小雪の圧倒的な存在感

自身の可能性を諦めない智を支え、母としてのたくましさを得ていく主人公・令子。「ALWAYS 三丁目の夕日」をはじめとする映画で印象を残す小雪が出演を熱望、12年ぶりに主演を務めて新境地を拓く。智役に、気鋭の若手俳優・田中偉登（『朝が来る』）。愛すべき楽天的な姿とともに内面の深さをも体現した。夫・正美役に吉沢悠。ほかに、リリー・フランキー、朝倉あき等が顔を揃える。



令和6年度・第2回水府名画鑑賞会

10月6日(日) 水府総合センターLa・ラ・ホール

①午前10時30分～12時30分 ②午後2時～4時 〒313-0213 常陸太田市町田町163-1

入場料 前売り 1,100円 (当日券/1300円) (上映時間113分、字幕付上映)

前売券発売所 ●常陸太田地区 パルティホール(73-1234)平塚薬局(72-1131)・多つ美(72-4916) ●水府地区 水府総合センター(85-0142)・藤ひろ(85-0913)・吹上米穀店(85-0007)・ヘアサロンちのね(87-0421) ●金砂郷地区 交流センターふじ(76-2221)・魚富(76-1175)・登喜和屋支店(76-2330) ●里美地区 里美文化センター(82-2204)

●後援● 常陸太田市教育委員会、常陸太田市文化団体連合会

●主催● 水府よい映画をみる会 ●共催● 茨城映画センター (TEL 029-226-3156)

●連絡先● 深澤(090-9852-5672)・山本(090-4540-2068)・石川(090-4818-6753)

PassMarket

※デジタルチケットは
右記QRコードから
購入できます。

